

学位論文内容の要旨

学位申請者	<p style="text-align: center;">WONGSAMING SUREERUT</p> <p style="text-align: center;">【比較社会文化学専攻 平成27年度生】</p>	要 旨
論文題目	タイ日母語場面と日本語接触場面における不満表明ストラテジーに関する研究 ―遊びフレームへのリフレーミングに着目して―	<p>本論文は、まず母語場面におけるタイ語母語話者と日本語母語話者のそれぞれの不満表明ストラテジーの特徴を明らかにし、次に日本語接触場面におけるタイ語母語話者と日本語母語話者の言語行動の異同について明らかにすることによって、異文化間コミュニケーション教育に寄与することを目的とする。</p> <p>本論文は、タイ語母語場面と日本語母語場面における不満表明で用いられる言語行動に注目した研究 1、日本語接触場面における不満を言う側であるタイ語母語話者の言語行動について分析した研究 2、日本語接触場面における不満を言われる側である日本語母語話者の言語行動研究について述べた研究 3 で構成されている。</p> <p>以上の研究から、タイ語母語話者と日本語母語話者は問題解決に向けて様々なストラテジーを用いて会話を収束に向かわせていることを明らかにした。それらのストラテジーの中でも、タイ語母語場面のみに、不満表明の場面で冗談を言い、それによって不満表明のフレームから遊びフレームへのリフレーミングという現象が現れている点に注目した。遊びフレームへのリフレーミングによって、笑いを生みやすいような環境が作られ、不満表明による緊張した雰囲気緩和される。これによって、不満を言う側と言われる側との関係性が崩れることなく、互いの良好な雰囲気作りと関係性を維持することが可能になるという結論を得た。</p>
審査委員	(主査) 教授 佐々木 泰子	
	准教授 山腰 京子	
	准教授 中西 公子	
	准教授 小松 祐子	
	助教 本林 響子	